

茨城県主要農作物等奨励品種の改廃について

茨城県主要農作物等種子条例第7条第1項及び茨城県主要農作物等の種子の生産と供給に関する要綱第2の3の(5)の規定に基づく奨励品種の改廃を令和8年4月1日付けで次のとおりしたので公告する。

令和8年4月1日

茨城県知事 大井川 和彦

1 奨励品種に指定する品種（奨励品種）

六条大麦「関東皮106号」（カシマホープ）

（1）来歴

六条大麦「関東皮106号」（カシマホープ）（以下、「カシマホープ」という。）は、農研機構次世代作物開発研究センターにおいて、早生、多収で、オオムギ縞萎縮病、オオムギ萎縮病、うどんこ病抵抗性を持ち、「カシマムギ」と同程度の麦茶加工適性を持つ六条皮麦品種の育成を育種目標として育成された品種である。

（2）奨励品種に指定する理由

近年、オオムギ縞萎縮病及びオオムギ萎縮病の発生拡大により、「カシマムギ」及び「カシマゴール」の収量低下が続いている。「カシマムギ」は両病害に罹病性であり、「カシマゴール」はオオムギ萎縮病に罹病性である。両病害はいずれもウイルスによる病害であり、発病ほ場においては麦種転換または抵抗性品種の導入が求められる。また、本県の六条大麦生産の約8割を占める「カシマゴール」では、細麦により調製歩留が低下していることから、実需者から改善を求められている。

「カシマホープ」は、「カシマゴール」と比較して、オオムギ縞萎縮病及びオオムギ萎縮病に抵抗性を有し、多収で、整粒歩合も高く、熟期が同程度であることから、「カシマゴール」に置き換え可能な新品種として有望視できる。

（3）栽培上の留意点

転換畑では必要に応じて追肥を行い、タンパク質含有率の向上に努める。

(4) 普及地帯及び面積

「カシマホープ」は「カシマゴール」に代えて、県内全域を対象地域として普及する。

(5) 特性表

種類	区分	品種名	来歴または 両親名	播性 程度	播種期 (月.日)	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)
六条 大麦	奨	カシマ ホープ	カシマゴール× F1 (カシマゴール ×関係 b564)	I	11.5	4.3	5.25

稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	容積重 (g)	千粒重 (g)	子実重 (kg/10a)	外観品質
86.7	4.4	574	710	30.5	673	上の下

株の開閉	耐倒伏性	耐病性			栽培適地
		さび	うどんこ	縞萎縮	
中	強	—	やや強	極強	県内全域の普通畑

特記事項
オオムギ縞萎縮ウイルスⅠ～Ⅲ型系統に「極強」、オオムギ萎縮病に「極強」、穂発芽性は「極難」、稈折損性は「難」、麦茶品質が優れる。

注 数値は下記条件における試験結果による。

(1) 試験年次(播種年): 令和元年～令和4年

(2) 試験ほ場: 茨城県農業総合センター農業研究所

(水戸市上国井町 表層腐植質黒ボク土)

(3) 施肥量(10aあたり) 基肥: 窒素6kg、リン酸6kg、カリ6kg、追肥: 窒素4kg

(4) 播種量(10aあたり) 8kg

2 奨励品種の指定区分を改訂する品種

水稻「ゆめひたち」(準奨励品種)

(1) 改訂する理由

本品種は茨城県が育成した水稻粳品種である。中生、良食味品種であり、業務用米として需要があることから、平成9年に奨励品種に指定された。需要が減退し、作付面積が減少してきており、今後、増加する見込みがないことから、指定区分を奨励品種から準奨励品種に改訂する。